

急速な経過をたどった若年者膵未分化癌の1例

なが み はる ひこ
長 見 晴 彦

キーワード：若年者膵未分化癌, cytokeratin, 小細胞癌

要 旨

42歳, 男性の膵未分化癌の1例を経験した。血液学的検査では Dupan II, Span I, エラスターゼ I が上昇, 上腹部 CT 像, 上腹部エコーにて膵尾部に低吸収域な腫瘍を認め, ERCP では膵管の狭窄, 不整は認めず, 血管造影上腫瘍は脾動脈, 中結腸動脈, 下結腸動脈から栄養血管を認めた。以上より通常の浸潤型膵癌と異なると推測された。手術所見では胃背側部, 横行結腸に浸潤し血性腹水を伴った腹膜播種を認める巨大腫瘍であった。術中摘出転移性リンパ節は膵由来の低分化型腺癌と診断され, 免疫組織化学的では cytokeratin 7, 20, epithelial membrane antigen (EMA), vimentin, M-actin, S-100 が陽性であった。以上より本腫瘍は膵原発未分化癌と診断した。本疾患は膵腫瘍の中では比較的稀であり, 本邦文献検索上37例の報告のみである。

はじめに

膵未分化癌は比較的稀な腫瘍で膵癌取り扱い規約¹⁾では分化方向が断定できない膵癌に分類されている。AFIP²⁾, WHO³⁾, Pour ら⁴⁾によれば膵 undifferentiated carcinoma に分類され, 膵癌取り扱い規約の退形成性膵管癌に分類されている。未分化癌の正確な頻度の把握は難しいが, 日本膵臓学会膵癌登録⁵⁾ (1981-2002) によれば全膵癌中0.98%であり, AFIP や WHO によれば同2~7%を占める。今回, 若年者膵未分化癌症例を経

験したので若干の文献的考察を加えて報告する。

症 例

42歳, 男性

主訴：食欲不振, 左腰背部痛

現病歴：平成14年12月より時々腰背部痛を自覚するも放置。しかし腹部圧迫感, 左腰背部痛及び食欲不振が出現し当院を受診した。腹部エコーにて膵体尾部に腫瘍像を認め, Computed Tomography (CT) 検査では膵体尾部に比較的巨大的な低吸収域の腫瘍を認めた。本症例は直ちに大学病院へ紹介した。大学病院入院時検査所見では血液検査, 生化学的検査は異常なし, ホルモン検査では somatostatin, glucagon, gasatrin, secretin は

Haruhiko NAGAMI

長見クリニック

連絡先：〒699-1311 雲南市木次町里方633-1